

No. 1018

快調！中日ドラゴンズ

7月14日から巨一中戦前半最後の三連戦を迎えた後楽園球場は連日大入り満員。V9をめざす巨人はこのところ投手陣の不調で下位を低迷。一方中日は投打のバランスもよくとれ、首位街道を突っ走ります。

第一戦を高橋一で落とした巨人はもう負けられないとエース堀内の先発、しかし堀内は7回KOするまで、毎回の13安打を浴び6失点と5安打の谷沢、ベテラン高木守など快調中日打線の前では全く通用しません。

結局7-4で前夜に続いて中日が連勝。与那嶺監督は

「若い力が一丸となってハッスルしているので心強い。チームの状態もいいし、今年こそは優勝をねらいたい、と意欲充分。

第三戦は長島のホームランで負けたもののこの三連戦2勝1敗と勝ち越し、対戦成績も勝敗と大きくひきはなしました。

祇園祭

7月16日は祇園祭の宵山。京都の市中は山、鉦に飾られた、提灯で不夜城のように明かるく照らし出されました。36度の暑さにかかわらず、祇園ばやしにさそわれてあつまった人の数56万。

明けて17日は、祇園祭のハイライト山鉦巡幸。長刀鉦を先頭に29の山や鉦が、京都市中を延々四時間にわたって進みます。

平安時代の昔、疫病退散のために営まれたのがはじまりといわれるこの祭は、京都市民の熱意と努力で長い間、守り続けられてきました。

祇園祭は炎暑の中、あと十日間も続けられる、真夏の一大ページェンドです。